

## 子どもたちの声が樹林地に

11月12日、東部児童館との交流事業「自然体験活動 杉の伐採丸太きりー」を行いました。子ども19人、大人6人の参加者は、入間地域福祉センターでこれまでの活動や樹林地について説明をうけ、のこぎり、なたなどの道具を持って樹林地に出発。現地では、枯れた杉の伐採を平出さんから説明をうけ、全員がのこぎりを使って杉の丸太切りを行いました。切った杉の年齢がわかる「年輪」の説明をうけ、「24もある！」と輪の数を一生懸命数えていました。はじめてのこぎりを使った子どもたちも、最後までのでこぎりを引き続けていました。自分で切った杉や樹林地のマテバシイやシラカシのどんぐり、枝や葉っぱなど、児童館での工作の材料になるはずです。



男の子も女の子も、伐採したまま放置してある腐った木を動かすとアリの卵やはさみ虫、むかでなどがたくさんいます。大喜びではさみ虫をつかむ子どもたち。マテバシイのどんぐりでクッキーを作ろうといっぱい拾った付き添いのお母さん。大人も子どもも自然の不思議に堪能した1日でした。



### お楽しみ会（入間樹林地）

12月19日（日）、10時から樹林地で例年どおり、お楽しみ会を行います。トン汁を食べながらこの1年間の活動の振り返りと来年の活動について話しあいます。10月には、市が7本のマテバシイなどの伐採がされたため、大変明るい樹林地となっています。また、落葉もすすみ、より林の中は陽がさしてくるでしょう。来年には、どんな植物に出会えるのでしょうか。どなたでも参加できますので、樹林地をのぞいてみませんか？

### 調布の自然 生き物編 その9

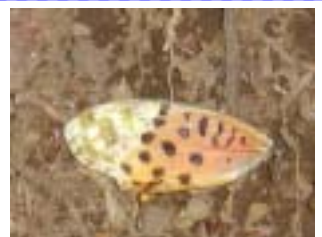
分布を拡大する虫たち クロコノマチョウとツマグロヒョウモン

5年前のちょうど今頃（12月）調布駅近くの駐車場に停めてあった会社の車に、こげ茶色の大きな蝶が入ってきた。その頃、関東地方での採集記録が増えて話題になっていたクロコノマチョウであった。

今年6月、かに山で蝶の羽を見つけた。ツマグロヒョウモンのオスの前翅だった。どちらも以前は主に西日本以南に分布していたもので、数年前から関東地方で記録されるようになってきた虫である。調布ではまだ記録がないと思うが、クマゼミやナガサキアゲハ、ムラサキツバメもやはり東へ分布拡大しつつあるという。これらはしばしば温暖化の影響といわれる。しかし、虫に限らず生物は、環境条件が許せば分布を拡げていくものである（その際たる動物が、ヒトだ）。よく調べず、思い込みで言うのは科学的とはいえない。

ところで、クロコノマチョウはその後見かけないが、調布に棲み着けなかったのだろうか。

（山室）



かに山に落ちていたツマグロヒョウモン雄の前翅



ツマグロヒョウモン雌

## 入間・樹林の会

11月21日(日)、参加メンバー6人(うち女性3名)が力をあわせて、10月に伐採されたマテバシイほか7本の木と剪定された丸太や枝の片付けと、西側樹林地へのシャガの群生地へのアプローチの整備としてアオキやシュロ(3本)の伐採を行いました。特に、シュロの皮をはいで見栄えをよくするというかつての農家がしていた作業は、皮をはぐのに大変手間どり時間がかかりました。杉などの伐採により適度の陽光がさし、素晴らしいシャガの群生地と、新たな植物のめばえが期待されます。また、隣接するアジサイとの対比がよくなると共感しきりでした。

12月のお楽しみ会の場所は、西側樹林地の上の夏に笹刈りをした場所に決めました



## 環境モニター

11/6(土)曇り  
多摩川土手植物調査  
その後染地地域福祉センターにて標本確認  
参加者 9名(多摩川センター及び職員含)  
講師 小澤正幸さん



今回も講師に小澤さんをお招きし9月以来のワンド周辺調査。始めに前回話に出たカタバエノコロについて、掲載のある図鑑のコピーを見せていただいた。植物によっては図鑑に載っていないことも多く、また種の分類はそのときの学説によって変化することがあり、むずかしい面があるなどのお話をして下さった。

ワンドに降りてみると10月の台風の影響で水嵩が大幅に増しており、そのためワンドの水が出入りする付近も行き来が出来ない状態。草木もかなり流されてしまったようで少なかったが、さすがにツルヨシはしぶとく元気。斜面に生えていたクコは真っ赤な実をつけていた。

その後、前回標本作りを教わって以降作成し、ためた物を確認し合い、不明なものは小澤先生に同定していただいた。見分け方のツボ等を教わり、そのため根まで残さないとわかりにくいものなどは特に気をつけたい。(K)

### 運営委員会からのお知らせ 環境市民懇談会第4回全体会 『未来に残そう調布の自然を』

2005年2月19日(土)10時~16時  
場所: たづくり11階みんなの広場で開催を予定しています。

自然環境活動に関心のある調布市民・団体・事業者を対象にして、各活動団体の展示発表を行います。

発表したい団体・個人・企業の方はふるってご参加ください。問合せは環境保全課まで。

## 凸凹山ワークショップ

昨日の日曜日(11/28)は、布田崖線緑地を考える会:凸凹ワークショップ主催の「リースを作ろう」に参加してきました。娘も一家で参加。材料を探すことから始めて昼過ぎには作品が完成し全員で記念撮影。「凸凹」には久しぶりの参加でしたが、たのしかったです。

凸凹では、プロバイダーもきまり、近々にHPを開設するそうで、写真を沢山とっていました。(イイネー!)

(江刺)

# 雑木林塾 第2回講座

11 / 13 (土) 曇り 参加者 12 名+2 名

AM 講義 (フィールド調査の目的と手法) 講師 根本 淳さん (和歌山大学大学院)

PM カニヤマ東斜面上方部分の調査

第2回雑木林塾は、樹林の植物調査の方法について学びました。講師は、人間樹林の会でも指導していただいている根本さんです。午前中は、わかりやすい事例を紹介いただきながらの机上講座です。樹林の立体構造 (高木層、亜高木層、低木層、草本層) の階層別区分の方法からデータの整理方法まで、中身の濃い内容でした。午後からは、カニ山で実習を行いました。頭の中で空間に線を引いて、階層をイメージしながら調査します。草本層を調査していると目線が地面に近くなり、地上小動物のような感覚になりました。調査地は樹冠が閉塞され、林床にはアズマネザサが繁茂しているため暗く感じます。でもササの間からは、昔からの埋土種子や鳥が運んできた種子、隅っこで細々と育っていた植物など、陽樹と陰樹の幼木達がにぎやかに育っています。名前がわからない植物も多く、教えていただきながらの実習でしたが、草本層には 49 種もの植物が観察されました。

これから講座とは別に自主活動も始まります。この幼木達をどのように育てるのが、カニ山と相談しながらやっていきたいと思います。(小島)

## ちょうふ DE 田んぼ日記

その 18

### 無事収穫できました

今年は夏の水不足と台風などの影響で、収穫量は落ちましたが、例年以上においしいお米ができました。不作だから味も悪いとは限らないのがふしぎです。

脱穀と籾摺り、そして精米が終わり、11月23日勤労感謝の日に、収穫祭を行いました。田んぼで火をおこし、かまで蒸したもち米を搗いたり、大鍋で豚汁を作ったり、魚を焼いたり。みんな思い思いの作業を手伝ってくれました。

特別な材料は何もありませんが、どの皿もとてもおいしく、温かい秋晴れの下での楽しい食事でした。子ども以上に大人たちが先頭に立ち、焼き芋を焼いたり、キャンプファイヤーのような大きな火を焚いたり、普段できない遊びを満喫していたようです。

今年は少し作業の手に余裕ができたせい、このような経験ができる田んぼをいつまでも残していけたらいいなあと、しみじみと感じ、とても貴重な一日を過ごすことができました。

12月5日は卒業式です。一年のレポート発表が楽しみです。来年もよろしくお願します。

(田んぼの学校 こんどう)



籾摺りのようす

## リレーエッセイ

(保全課職員担当)

環境保全課生活環境係に10月から異動してきました加藤です。今までの仕事と大きく相違していて戸惑っていることがあります。それは、常時外に出て市民の方の苦情を解決するために市内を隈なく状況調査に回ることです。いままでの仕事の関係であまり外にでる機会がなかったので、地理に疎く毎日苦勞している状況です。

生活環境係ということですから、文字どおり生活に密着した事柄に関することを処理する部署であって毎日と言っていいほど苦情がありません。今の時期で比較的多い苦情が、野外焼却で、平成13年4月1日施行された東京都の条例で禁止されました。これについては条例施行前と後では取扱が正反対になったもので、現代の社会構造の複雑化に伴う典型的な事例ではないかと思われま。施行後3年以上経過しておりますが、十分に浸透されてないのが現状で今後も苦情はなくなりそうもありません。引き続き苦情対応に奔走いたします。(加藤)

# イベント情報

## 環境モニター

日時：12月4日(土) 10:00~12:00  
 場所：市民プール南土手ベンチ付近集合  
 内容：植物調査  
 持ち物：ルーペ、ビニール袋、スコップ  
 カメラ、図鑑等

## 雑木林塾第3回講座

日時：12月11日(土) 10:00~15:00  
 場所：京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前集合  
 内容：樹木の保全とは  
 ~フィールドからの声を聞く~  
 持ち物：歩きやすい服装、飲み物、昼食等

## 雑木林塾自主活動

日時：12月12日(日) 10:00~  
 場所：野草園前集合  
 内容：カニヤマを中心とした植生マップ作り  
 持ち物：筆記用具、図鑑

## 野川クリーン作戦

日時：12月4日(土) 10時~11時  
 場所：下流部(馬橋~野川大橋) 上流部(御塔坂橋~馬橋)  
 内容：ごみ拾い  
 持ち物：軍手

## エコクラブ

日時：12月18日(土) 13時~16時  
 場所：野草園入り口集合  
 内容：春の七草観察と寄せ植え作り  
 持ち物：小さなシャベル、軍手

## 人間樹林の会

日時：12月19日(日) 10:00~15:00  
 場所：人間地域福祉センター  
 内容：お楽しみ会  
 持ち物：おわん, おはし, 会費¥300

## 【編集後記】

早いもので、気がつけば今年も残すところ、あと1ヶ月なんですね。12月といえば、なにかとイベント(飲み会?)の多い月ですが、みなさんくれぐれも体調(飲みすぎ?)には気をつけましょう。(ささき)

## 「調布の新米を食べる会」 のお知らせ

今年で8回目になります。谷戸とたんぼの会主催で毎年「新米を食べる会」を開いています。深大寺自然広場カニ山キャンプ場で自炊し、調布産の新米や野菜いっぱいのお鍋を作ります。食べ放題、のみ放題。楽しく食事をしながら周辺の環境の素晴らしさを体と舌で味わってください。

日時：12月11日(土) 10:00~15:00  
 雨天中止、小雨は決行します

場所：深大寺自然広場 カニ山キャンプ場  
 (柏野小の北側)

お手伝いいただける方は10時においで下さい。おみやげを差し上げます。

「新米を食べる会」は12時からです。

参加費：一人1000円(当日集めます・学生半額、小学生以下は無料)

用意する物：食器とはし(ごはんと深大寺なべ、おかず用)

定員：30名くらい

お申し込み・お問い合わせ：

谷戸とたんぼの会 杉山

電話/ファクス：0424-88-4863

e-mail：s.noripi@jcom.home.ne.jp



11月の紅葉

今日11/29現在、まだ緑色のイチョウの葉が目立ちます。例年なら文化の日には紅葉真っ盛りです。やはりポカポカ陽気のせでしょうね。

## <会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
12月2日(木) 18:30~20:30	たづくり3階 301会議室	環境市民懇談会 運営会議
12月16日(木) 18:30~20:30	たづくり3階 303会議室	環境市民懇談会 連絡会
12月20日(月) 13:30~17:00	市役所3階 環境部会議室	ニュースレター 編集・次号企画

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会